

令和4年度地域活動支援事業 事例集

2 新道区

中部まちづくりセンター

No.01

稲田4丁目情報共有体制整備事業

地域の安全・安心

稲田4丁目町内会

事業概要

安全安心な地域づくりのため、防災・防犯情報収集、伝達用の通信機器を整備した。

これにより、非常時にスムーズに使用できるよう、機器を用いて避難訓練や防災・防犯パトロールを行った。

事業評価・今後の活動の見通し

避難訓練の実施により、役員が避難行動中においても、十分な情報共有体制をとれることが確認できた。

訓練は役員のみで行ったが、来年度以降は全世帯へ参加を呼びかける予定としている。規模を拡大すると活動内容が複雑化することが想定されるため、通信機器を有効活用し、相互の情報共有を円滑に行えるよう訓練を行う。また、平常時においても、パトロール活動を継続していく。



事業費 299,200 円

補助金額 299,000 円

No.02

とよば町内、大ケヤキ2本（樹齢350年）周辺環境整備事業

文化・スポーツの振興

とよば町内会（大ケヤキ保存会）

事業概要

上越市の「地域の宝」である大ケヤキを保全するとともに、子どもの安全を確保するため、枯れ枝を伐採するなど、周辺環境整備を行った。

事業評価・今後の活動の見通し

継続して保全活動に努めており、今後、施肥などの効果が期待できるものと考えている。

「地域の宝」である大ケヤキを後世に残すべく、今後も環境整備に努め、地域交流の場としての整備や地域活性化にも注力し、将来的には市の文化財となることを目指して取り組んでいく。



事業費 399,700 円

補助金額 390,000 円

No.03

稲田むすぶプロジェクト事業

まちづくりの推進

稲田むすぶプロジェクト

事業概要

コロナ禍により地域のつながりが薄くなっていることを危惧し、地域住民が参画できる活動を通じて地域の絆を強め、大人から子どもまで笑顔で過ごせる地域をつくることを目的に、地域住民参加型の灯るイベントやクリーン活動、花火大会を実施した。

事業評価・今後の活動の見通し

様々な活動を通して、大人から子どもまで世代を超えた地域の絆を強めるだけでなく、地域の魅力を再発見することができた。

今後は、子どもたちが体験できる内容を増やし、その講師を地域の大人が担うことで、世代を超えた交流の機会を設けるほか、地域の宝（技術・食）を伝える機会になるような場を提供していきたい。



事業費 1,153,109 円

補助金額 1,153,000 円

No.04**稲田2丁目災害支援事業**

地域の安全・安心

稲田2丁目町内会

事業概要

地域の防災力の向上のため、防災訓練を実施することを目的に、防災用テント等を購入し、町内全体での訓練実施の準備を整えた。

訓練予定時期に新型コロナウイルス感染症が市内外で感染拡大したため、全体での訓練は中止としたが、防災委員で本部開設訓練を実施した。

事業評価・今後の活動の見通し

計画どおりに防災訓練を実施することができなかったが、本部の開設訓練を実施し、スムーズに開設できるよう役員間で確認をすることができた。

今後は、町内全体で防災訓練を実施するとともに、補助事業で購入した防災用テントを日頃から地域のイベントなどでも活用したり、貸出すことも検討し、災害時の迅速な本部開設につなげたい。



事業費	382,580 円
------------	-----------

補助金額	382,000 円
-------------	-----------

No.05**新道区若者活性化事業**

まちづくりの推進

上越若者みらい会議

事業概要

若者のまちづくりへの参画や人材発掘、地域の担い手づくりの機会となるよう、定期的なスポーツ交流会や球技大会を開催した。

各種目にリーダーなどの役割分担をし、自主性、自立心、リーダーシップの育成を図った。

事業評価・今後の活動の見通し

目標より参加者は少なかったが、事業の後半には新規の参加者も増え、活動を行うことができた。地域の若い世代の交流やコミュニティづくりのためのプラットフォームができつつあり、また、メンバーの自発性を育み、経験を積む機会になったと感じた。

今後は、地域の団体や大学などにアプローチを継続し、地域と若者をつなぐ懸け橋になるよう活動を継続していきたい。



事業費	228,602 円
------------	-----------

補助金額	155,000 円
-------------	-----------